



左：鋸山日本寺。拝観料
大人600円、小人300円。
8:30～17:00。山頂の地
獄のぞきは勇気が試され
る。☎0470-55-1103

右上：日本一大仏。1783年から3年を費やし完成。江戸末期に崩壊するも、昭和44年に復元。
右中：東海千五百羅漢。1779年から1798年まで、21年の歳月をかけて完成。その数1553体。

右下：保田漁港漁協直営
お食事どころ「ばんや」。
房総産、旬の魚介類がたっぷり楽しめる。☎0470-
55-1103

鋸山 日本寺 (千葉県)

悠久の1300年、古刹の歴史探索 —アクアラインで1時間、房総半島 鋸山 日本寺・保田漁港へ—

地上300mの断崖絶壁。ぴょこんと虚空につきだした岩塊がその展望台。房総・三浦の両半島、東京・横浜の街並、さらに遠く富士山の姿、関東一望の一大パノラマ。同行者に促され、細い手すりをたよりにこわごわとのぞき込むと、高所恐怖症でなくとも、垂直300mの高低差に思わず目がくらむ…背筋も凍るこのスリル。これこそ将に鋸山の「地獄のぞき」。

アクアラインが整備され、ぐっと身近になった房総半島。今回は千葉県安房郡鋸南町にある鋸山日本寺を訪れてみました。

鋸山は正式名称「乾坤山日本寺」。聖武天皇の勅詔により、神亀2年(725年)創建された名刹です。標高は329m、総面積10万坪(33万平方メートル)。山内には日本一の大仏・百尺観音・千五百羅漢等、貴重な文化財が



面白押し。点在するこれら名跡を、順番に眺めてゆくだけ丸一日楽しめます。

御本尊は「大仏（薬師瑠璃光如来）」。その総高はなんと31.05m！その圧倒的存在感。奈良の大仏が18m、鎌倉の大仏で13m、日本一の呼称は伊達ではありません。

「東海千五百羅漢」は、大仏さまと同じく、江戸期の名工大野甚五郎によって刻まれた、文字どおり1553体を数える、世界屈指の石仏群。参道沿いの風雨に浸食された奇岩洞窟に、ずらっと安置されています。どの石仏も特徴のある良いお顔で、同じ顔は一体としてありません。あ、あれは○○さんにそっくり。これは私…陰影濃いその佇まいに、思わず足を止め見入ってしまいます。

その他、十八勝・三十六景と呼ばれる名勝ポイント、四季折々の草木など、見どころはたっぷり。麓から山頂へとのびる、ロープウェーにも是非乗ってみたいのです。一つご注意を。総面積10万坪の広さは想像以上。さらに、道中は急峻な階段ばかり。お寄りの際は歩きやすい履き慣れた靴でお出でになることをオススメいたします。いい運動にもなりますよ。

房総と言えば海の幸。鋸山からは、近くの保田漁港、漁協直営のお食事処「ばんや」への無料送迎バスも出ています。TVなどでも有名な、ボリュームたっぷりの漁師料理を堪能。お土産ものショップや温泉施設も併設しており、高濃度の炭酸泉が楽しめます。



文・撮影：成瀬大志 <http://minkara.carview.co.jp/userid/209355/blog/> 構成：(株)アサヒプリンティング 044-742-8812